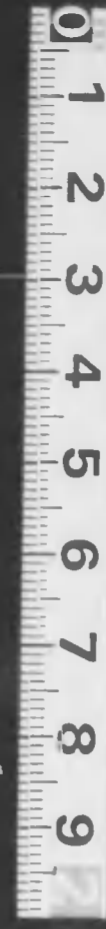


週
報
寫
眞

情 報 局 編 輯
二十 月 五 日 · 第 三 十 一 號 · 七 十 二

勝
ち
ぬ
け
造
船



風浪と戦ひ
 敵機敵潜の跳梁下に挺身し
 儼として死守しつづける
 金剛不壊の海上輸送線
 そのかげに君達船員の不撓の海員魂がある
 そのかげに君達造船戦士の不屈の闘志がある
 第一線の將兵が誰よりも君達に感謝してゐるぞ
 一億國民がひそかに君達の健闘を祈つてゐるぞ
 海上に硝煙晴るゝ日
 七洋は君達の不滅の勳に
 いよく燦々と輝くであらう

古賀聯合艦隊司令長官 航空母艦上に勇士を激勵



さる十月二十七日敵米軍が西南太平洋モノ島上陸以來、十二月三日の第六次ブーゲンビル島沖航空戦に至る歴々の海空決戦及び中南太平洋ギルバート島を中心とする航空戦において、わが聯合艦隊は、再び世界を驚倒させる大戦果を収め、敵が呼號する總反攻の出鼻に一大痛撃を喰はせた。敵が宣傳これ努めた一大艦隊勢力も、徒らに尅大なる海底艦隊の編成に役立つに過ぎなかつたのである

だが、ギルバート諸島を通じてわが内南洋を窺はんとする所謂ニミッツ攻勢も、更にわが西南太平洋の重要戰略據點ラバウルを奪回せんとする敵の執拗なる企圖も、容易に終焉するとは思はれない

戦局は正に重大。われわれは前線將兵の赫々たる偉勳に満腔の感謝を捧げると共に、一體でも多く、一艦でも多くの熾烈な要望に應へ、すべてをあげて戦力化する必勝の決意を固めなければならぬ

補給戦は勝利の鍵



苛烈な戦局と補給戦

「近代戦は補給戦」といわれるが、この言葉が今日ほど適切にあらはれる時はない。わが國が今日直面してゐる戦局の真相を改めて凝視するならば、晝夜を分たぬ死闘を繰返しつつあるソモン、ニューギニア方面並びに最近敵が出現したギルバート諸島等は、いづれもわが本土から二千數百哩を隔てた遠距離の戦場であるばかりでなく、そこでは彼我の間に文字通り鎗をけつる航空戦、海戦が連続し、これに伴ふ消耗もまた莫大な數量に上つてゐる。

敵アメリカは航空機、艦船の「量」にもものをいはせて、連日無二わが戦路要線の突破を企圖し、強引な反攻作戦を繰返しつつあるが、この頑敵を撃滅するためには、皇軍將兵の烈々たる闘魂と卓抜な戦闘技術に加ふるに、十分なる飛行機、艦船、兵器の「量」をもつてしなければならぬことは多言を要しない。

更にこれら軍需品並びに將兵を前線へ送り届けるためには、まづわが輸送船の「量」を確保しなければならぬこともまた火をみるより明らかである。前線の將兵は日夜雲霞の如く大舉來襲する敵機を邀撃し、或ひは敵地へ進攻して、寡勢よく數倍乃至數十倍の敵を相手に、不利なる戦場を黙々と戦ひ抜きつゝある。この戦場の真相を想ふとき、前線への補給をひきうける輸送船の任務がいかに重且つ大であるかを知るとともに、戦場の勝敗がいかに「補給」にかゝつてゐるかをはつきり知ることができるのである。

補給戦は勝敗を決定す

「補給戦」は窮極に於て、實に戦争の勝敗を決定する鍵となつて来る。いな、既にさうなつてゐる。われらはこの一點を十分念頭

□ 海上補給路を断たんとする敵の野望を破砕して輸送船は進む。海軍に守られつゝ

に刻み込んで、造船に、修理に、はたまた輸送船の運航に二倍、三倍の努力を傾注して、前線將兵の奮戦力闘に協力しなければならぬ。

そののみでなく、今日わが國の實情は、鉄後の生産増強に役立つ殆んどあらゆる原料、資材が直接、間接に海上輸送に依存してゐる。

續戦の大勝によつてわが國が確保した南方資源地帯はもちろん満洲、中華民國、タイ、ビルマ、佛印などの大東亞共榮圏内の資源を適地へ輸送し、戦力化するためには、海上輸送の確保は絶対不可欠の要件であり、海上補給路の確保こそ、大東亞戦争を戦ひ抜き、大東亞の經濟建設を達成する上の要諦である。更にまた海上補給路を確保する上の第一要件は船腹の増強であり、造船の飛躍的促進以外にない。

現に敵アメリカは強大な生産力を持つて、われに補給決戦を挑み、船腹競争を仕掛けてゐる。最近、米國戰時生産局長官ドナルド・ネルソンは「本年十月中の造船高は百六十六万重量トン、本年初頭以來の造船高は千五百二十九万二千重量トンに達した」と發表してゐるが、その眞偽は別として、敵の造船計畫の進捗は絶対に輕視を許さぬものがある。

さらに敵の反攻企圖が熾烈となり、戦争の様相が愈々苛烈を加ふれば加ふるほど、戦争は「補給戦」としての性格を益々明瞭にして来るのであつて、敵もまたわが補給路の攪亂を作戰の重大なる一翼としてこれを積極化して来ることは必至である。

敵はわが大東亞建設が著々と進行し、わが戦力が日に／＼強化するのをおそれ、戦略的にもわが海上補給路を寸断せんとしてあらゆる手段と戦法をもつてわが補給路の攪亂に狂奔しつゝある。今次戦争が結局に於て、大消耗戦であり、補給戦であることを敵も常に忘れないのである。

補給戦に勝ちぬく途

敵の反攻目標がこの點にあり、作戰の重點もまた、こゝにおかれてゐるとすれば、我が方に於ても、今こそ船腹の増強に鉄後の總力を傾倒し、敵の挑む「補給決戦」にも斷乎勝ち抜かなければならぬ。

今や太平洋戦局は、敵の航空基地奪回を目指す執拗にして、強引な反攻作戦に對するわが海軍航空部隊の勇猛果敢なる攻撃の應酬によつて、戦争の規模はますます擴大するばかりでなく、大東亞防衛のわが戦路要線に直接指向された敵の作戰目的は、絶対に輕視を許さざるものあり、前線も鉄後もひとしく今日の決戦を戦ふ戦士として奮起すべきである。

最後に、この緊急を要する補給の決戦場裡にあつて、特に留意しなければならぬ一事は、たとへ如何に多量の船を建造するとしても、それ等が當面の緊急事態に役立たなければ意味をなさぬといふ點であつて、換言すれば「短時日」に「多量」の船腹を建造することが、刻下の要請に應ふる最善の途である。

「補給決戦」においては「時」が極めて重大なる役割を演ずることを重ねて銘記し、一刻も早く「補給決戦」に處する鉄後の總員配置を完了し、一日も早く、一隻でも多くの船を造り、前線への補給と鉄後生産増強の達成に萬全を期さなければならぬ。

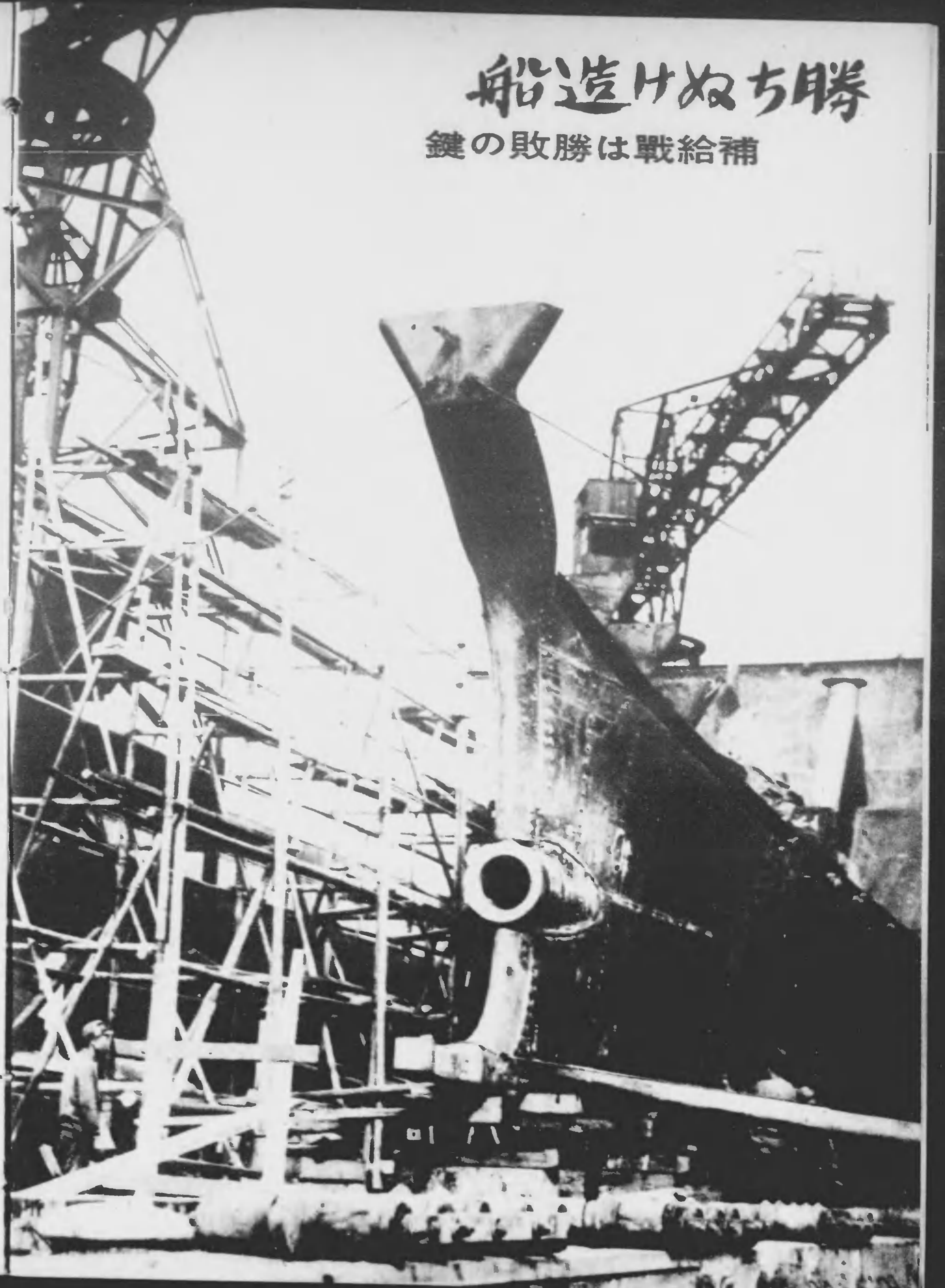
大本營海軍報道部

□ 輸送船は補給の血脈だ。船腹に覆された物資は飛行機となつて南洋の決戦場へ飛び渡る。



勝ちぬけ造船

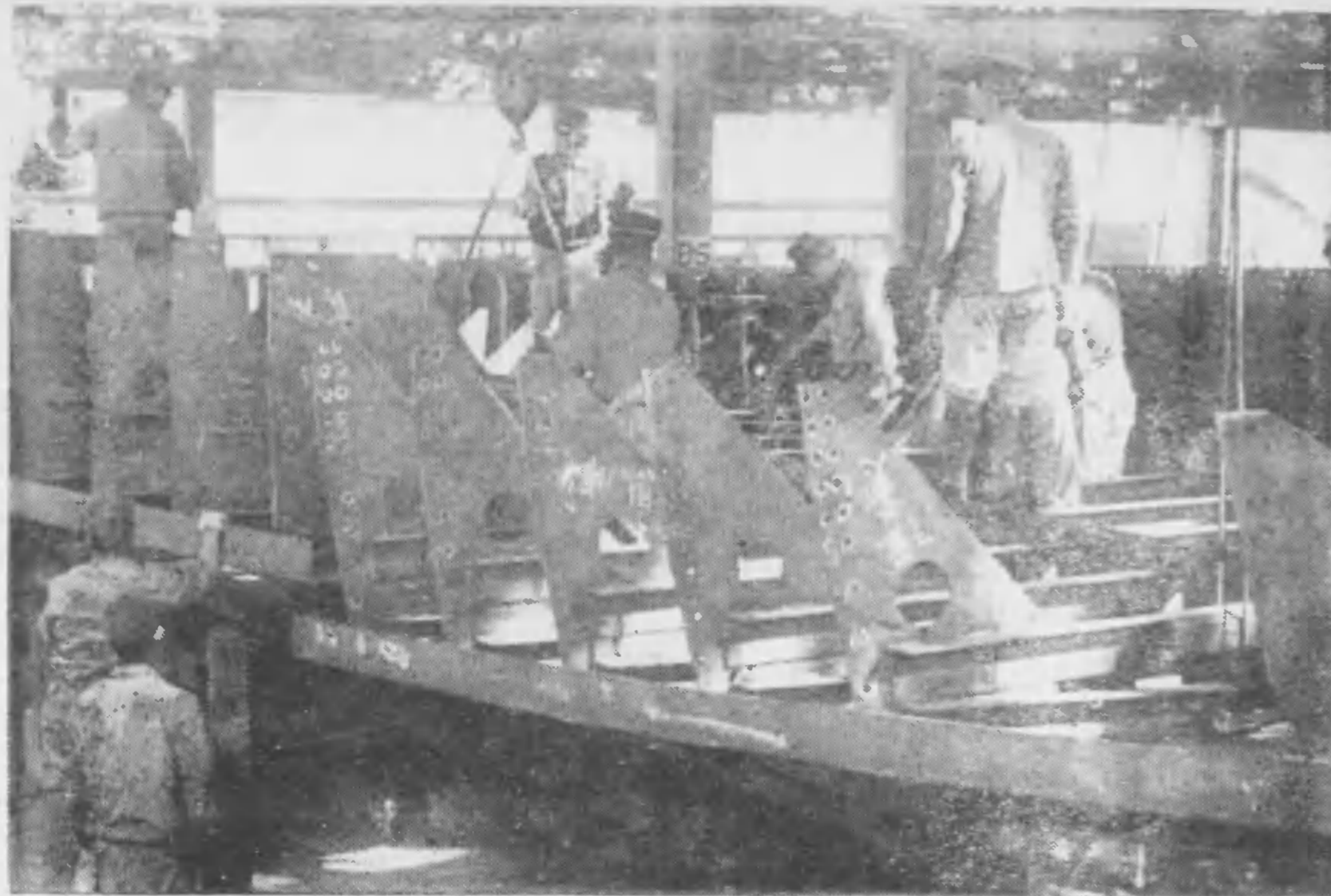
補給戦は勝敗の鍵



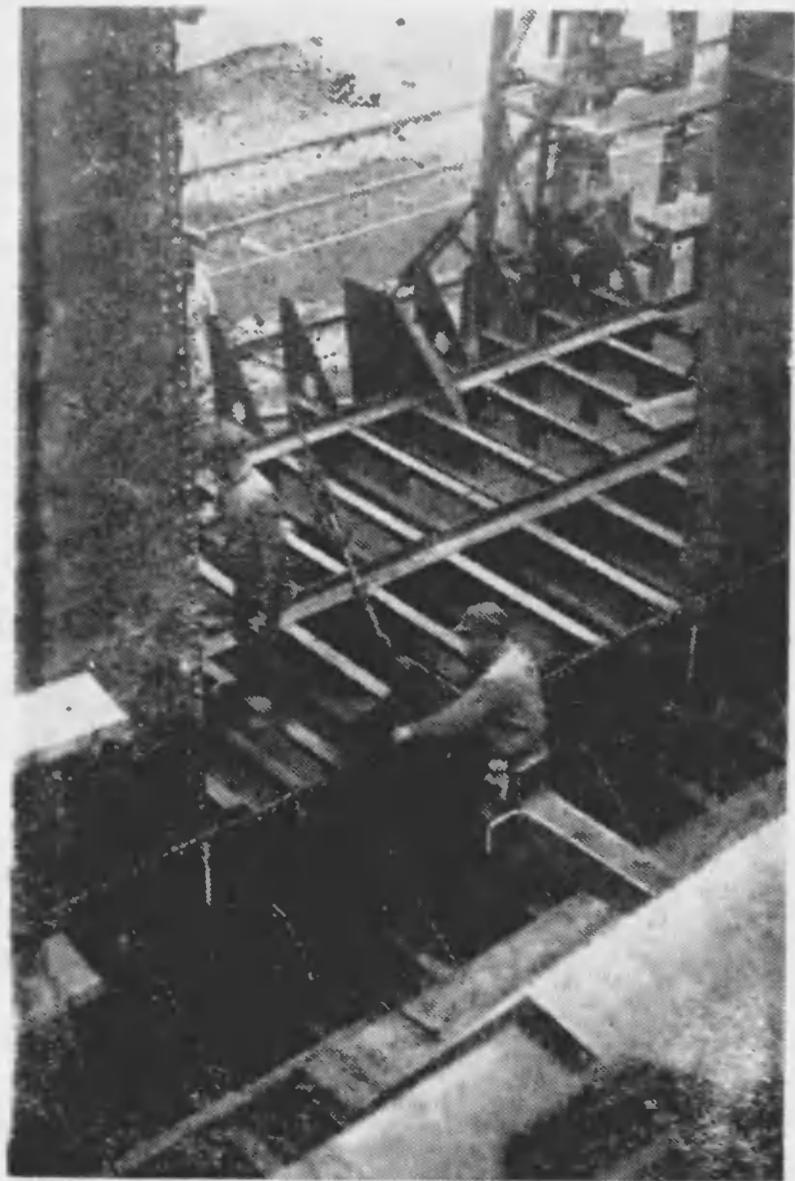
⇨ 一隻運水すれば、勝ちぬけの第一工事が始まる。——船底の組立作業

⇨ 船底作業の状況。前景に見えるソロボン玉のやうな鉄道に乗って、各工段から進水まで作業が流れてゆく

⇨ クレーンで運ばれてゆく完成されたボイラー



⇨ 第一工事が始まって数日たらずで作業は第二工段に流れてゆく。船内の組立



勝ちぬけ造船



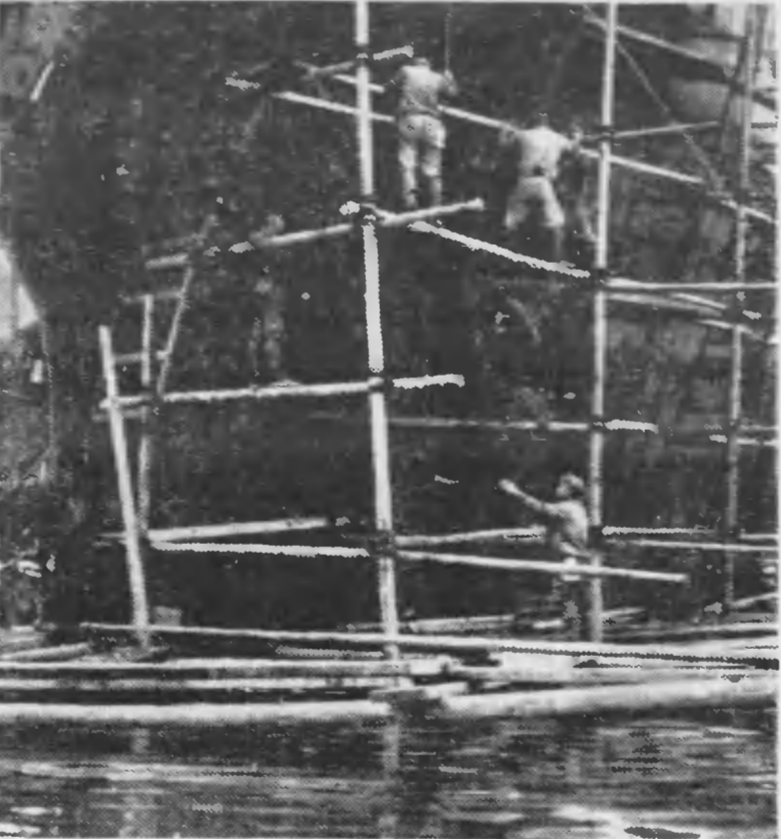
冬空を透して逞しい船骨の影



推進機工作に精魂をこめる工員



工員が通入、第三工場で甲板の取付作業



いよ／＼第四工程、晴れの進水の日も近い

今日進水の日、戦前のやうなまで姿はないが、堂々の巨艦は興業としてよ／＼大洋を君んでまさに雄飛



造船作業の
劃期的推進

昨年初頭、最重要國策として計畫造船が実施されてから、各造船所は海軍艦政本部の指導監督の下に各能力に應じて一齊に造船作業の促進に邁進したのである。政府を始め、あらゆる機関はこれと同時に造船作業のために、材料方面においても、勞務方面においても、また動力方面においても最優先的に協力しつゝある。戦局はいよ／＼重大化し、いまや總力戦の最重要時となり、輸送力の強化は眞に最高度の重要性を示してきた今日、一般國民はあらゆる野において造船促進に協力しなければならぬことはいふまでもない。

計畫造船實施とともに、従来千種萬態であつた船舶の設計に對して標準化が行はれ、貨物船及び油槽船をまはせて僅かに數種類に限られ、その設計の内容も非常に簡易化せられ、船の性能と運轉能率に重點を置き、外觀や戦時には不必要と認めらるゝものは犠牲にした、いはゆる實質主義に改められた。また従来は一造船所である／＼異つた船を作つてゐたが、この際整理して一造船所で同一型船の建造を繰返し行ふこととした。このため建造工數が著しく減り、建造期間も従來の三分の一から五分の一位までに短縮せられて來た。

建造方法も従來のやうに一枚の鋼板や一本の肋骨を船臺上に運び、一つづつ丹念に取付けて行ふやうなやり方はやめて、地上で相當程度の大きな形にまで組立て、ゴソソリ船臺へ起重機で運び取付けるといふ、いはゆるブロック式建造を行つてゐる。従來足場の上でやつてゐたやりにくい仕事が一掃され、作業のやりよい地上で細かい仕事は全部片づけ、船臺上では單にこれらを繋ぎ合はせる程度である。従つて仕事の難易の差は非常に大きい。しか、これには相當な力量の起重機が要するが、艦政の貧弱な造船所でゴソソリ組立てるわけでも相當能率は上がるが、さうにブロック式の實施によつて、成果は劃期的なものとなつてゐる。

大ぎに造船所の増設であつたが、従來は各社が思ひ／＼の設計で賣出されてゐたため、日々またい／＼の型の新た船を建造してゐたため、多量建造にはさうな縁起の施設もあつたが、艦政本部の指導協力の下に改善が行ひ、造船所施設の調査研究を實施して、是に採長短することによつて、造船所の増設も、ある。

斯ら、建設した造船所でも、さうに是の研究を徹底的に行ひ、殆んど準備した多量建造様式を探つてゐる。例へば政府の船臺を一齊に建造する方法や、一箇か二箇の少量の船臺でごく短期の期間内に一隻づつ、水させる方法等もある。また、従来の方法も従来のやうにヘットと滑り下りるもの、トロッコに乗つて水するもの、或ははねか國としては、従來あまり行つてゐなかつた横滑り方法等、地區的な状況に應じて、多量建造を目的とした種々なる方法を探つてゐる。

大ぎに材料であるが、主要材料たる鋼材は計畫建造造船所前には寸法の種別が相當多かつた。艦政本部ではこれを思ひ切つてごく少數に制限し、使用範囲も限定し、寸法を制定したから、採掘性は著しく大きくなり、また、一方、製鋼所をウツと高めることが出来た。これとともに主務省と協同をして、配給方法の合理化を行つたか

凍る軍靴をふみしめて

詩

たまねぎ

戦野のあしたに

こと、こと、こと、と
刻む たまねぎ
まないたにはほのぼのと
白ふ故郷
秋葉に似た
むせつたに凍渡る
乾燥野菜のたまねぎ
春は ふしくれた手に汗滴み
夏は 大根の乾からびた葉を湯に浸し
あさみの根を食す
山の とりでに 星移り
今また きびしき冬至らんとす
今日——
風塵と来りけむ
高原と山と廣袤の野を
ながき旅路に
肌つややかな昔日は
あせたれど
遠き湖路の
香に染まぬ たまねぎ
指先に やはらかに
赤茶けた
ひとときれ ひとときれが
ふるさとを 豊かに語る
薄き湯気に つまれ
沸々と 煮え たぎる
今朝の 味噌汁と
匂ふたまねぎ
腹に 痛み
腹に 痛み

松尾 榮
たまねぎの存在
たまねぎはあひらがたき

唐王山 丹羽 正道
唐王山は戦時中戦時中
唐王山は戦時中戦時中
唐王山は戦時中戦時中

俳句

手すまびの笛に陣地は昏れて雪
昏れて雪明けて雪なる野を記む
立哨の足踏み高き夜寒かな

阪上 俊夫
東雲の野呼吸列白し
肌寒き山の歩哨や月入りぬ

和夫
堀口
前田多之甫
安達 橋



女戦 三浦 亞乃 画

短歌

母そはは六十路重ねぬ戦車に我はも命いまだらうて
又あまといまうさへも降りておかしき山をのぼりて

武内 洞達
浅加 洋丸

空襲のサイレンの音けたまはし高射砲連夜空に響く
照夜槍高く夜をつらとまきて高射砲連夜空に響く

笠原三三男

ら、この方面にも劇的な実績が表はれる
に布つた。このほか、造船所で使用する機
械器具類等も露伴方面の非常な協力によつ
て、その完備に尚つて漸次進捗してゐる
最も重要な努力においては、厚生省が露
伴方面の絶大な努力と優先的な考慮と、
一般國民の深い認識によつて、増加の一途
を辿つて來てゐる。

以上の説明では、やゝもすれば造船は將
水大丈夫といつた感をもつるかも知れない
が、決してさうではない。戦時劇的な
促進が實現せられつゝあることは事實であ
るが、國家の要請は決戦ともなまじく、
増大して來てゐる。國民の誰一人といへど
も、勇敢果敢な露伴の戦力の偉大さに感激
しないものはないのであるが、この皇軍を
支へ、將來すすむ十二分の力を發揮して
貰ふためには、輸送の大任を果す。造船
を十分に進捗せしめることであり、行を
一隻でも多く早く建造することであり、ま
た、あらゆる戦時重要産業の増産のため
は、造船の十分なる準備を確保せねばな
らぬ。この大事なることを國民の全が果
てどの程度認識してゐるであらうか。

いまや敵米英も造船に必死だ。米大統領
は「本年度建造目標を一八〇〇万トン、来
年度目標二五〇〇万トン（戦前水準）と
述べてゐるさうだが、眞偽は別として、た
とへば敵國がこれを實現しても、我において
何等感るゝことはない備へを怠つてゐる
ものである。いまや造船も完全に決戦段階
にある。

造船の戦ひには敵が見えぬ。敵の見えぬ
戦ひには、やゝもすれば心に油断が起り易
い。敵の見えぬ戦ひにおいては特に注意し
特に緊張を要する。

大東亞戦争日記

十一月

十四日 ●(一) ニューキニア島方面我
が陸軍航空隊は、十一月六日より同九日
に至る間、六日にわたつてラムラム河におよ
びカヌカバのマザブ、ヤンビ等の戦場
を攻撃すると共に、地上部隊と協同して
日露表の戦果を収めたり(十一月八
日陸軍の戦果を含む) 五十九機(うち不
地上撃破および炎上 二百二十機以上
我が方の損害 三機)

十七日 ●帝國海軍航空隊は十一月十
七日未明、ニューギニア島南方海面にお
いて敵軍艦を捕獲攻撃し、左の戦果を得
我々の損害 大型潜水艦 一隻
大型空母艦 二隻
中型空母艦 二隻
大型軍艦 一隻

我が方の損害 大型潜水艦 一隻
大型空母艦 二隻
中型空母艦 二隻
大型軍艦 一隻
十一月二日 帝國海軍航空隊は十一月十七日早朝
●帝國海軍航空隊は十一月十七日早朝
●帝國海軍航空隊は十一月十七日早朝
●帝國海軍航空隊は十一月十七日早朝

この意味において、造船は大東亞戦争勝
敗の鍵であり、造船は戦時中に直接に重
大な關係があるものである。

この重要性を深く自覚し、造船のみな
らず、造船に關係する造船材料、輸送品、船
用品等の製造工場も露伴の努力を結ぶる
のである。造船所ならぬにこれらの工場
は深夜でも、輝々たる作業灯の下に、機械
の音、電氣の音の混じり合った時々々々
音が響けりてゐる。

造船は戦時中に最も重要な産業である
。造船に關係する造船材料、輸送品、船
用品等の製造工場も露伴の努力を結ぶる
のである。造船所ならぬにこれらの工場
は深夜でも、輝々たる作業灯の下に、機械
の音、電氣の音の混じり合った時々々々
音が響けりてゐる。

造船の戦ひには敵が見えぬ。敵の見えぬ
戦ひには、やゝもすれば心に油断が起り易
い。敵の見えぬ戦ひにおいては特に注意し
特に緊張を要する。

飯河技術大佐 談

重砲第六戦隊に對する連隊攻撃は、この後
に於いて重要な戦果大さう如し
●十一月九日 帝國海軍航空隊は十一月九日早朝
●十一月九日 帝國海軍航空隊は十一月九日早朝
●十一月九日 帝國海軍航空隊は十一月九日早朝

二十三日 ●キルバート諸島方面今後は敵
軍機に對して特にタラワ島においては、上
空を以て中心とし激闘がなされてゐる。
●十一月九日 帝國海軍航空隊は十一月九日早朝
●十一月九日 帝國海軍航空隊は十一月九日早朝
●十一月九日 帝國海軍航空隊は十一月九日早朝

二十五日 ●帝國海軍航空隊は二十五日未明マ
キン島方面において敵軍空母艦隊を捕獲
●十一月九日 帝國海軍航空隊は十一月九日早朝
●十一月九日 帝國海軍航空隊は十一月九日早朝
●十一月九日 帝國海軍航空隊は十一月九日早朝

二十六日 ●帝國海軍航空隊は二十六日早朝
●帝國海軍航空隊は二十六日早朝
●帝國海軍航空隊は二十六日早朝

我が方の損害 大型潜水艦 一隻
大型空母艦 二隻
中型空母艦 二隻
大型軍艦 一隻

★ 學兵 凛平として入營す ★



二 夢にまで見た 陸軍生活。それが、いま目の前に
たつてくる。 訓練すべし。大地をこまごま、冬場の
訓練をこまごま、冬場の訓練をこまごま、冬場の訓練を
こまごま、冬場の訓練をこまごま、冬場の訓練を



十二月一日、この日、全国にわたつて陸軍
への學徒入營がまづ一せいにいはれ、ついで
に海軍への入營は十二月十日に行はれた。
一億の期待と感激とを双肩に擔つて、學兵
は歡呼の中を、遠くした歩調で營門をくぐつ
ていった。その姿は正にそのかみの若武者用
の威風凛々、清らかな姿を想はせる。いまは
何を思ふのことではない。昨日までの汝々
たる訓練は、想へば榮えある今日の日のため
であつたのだ。

われらが祖先もまたかくて榮光の歴史
を創造した。われらもかくてその榮光に馳せ
參するのだ。ひたぶるに一死報國に燃える
學兵の胸宇には感動がみなぎつてゐた。



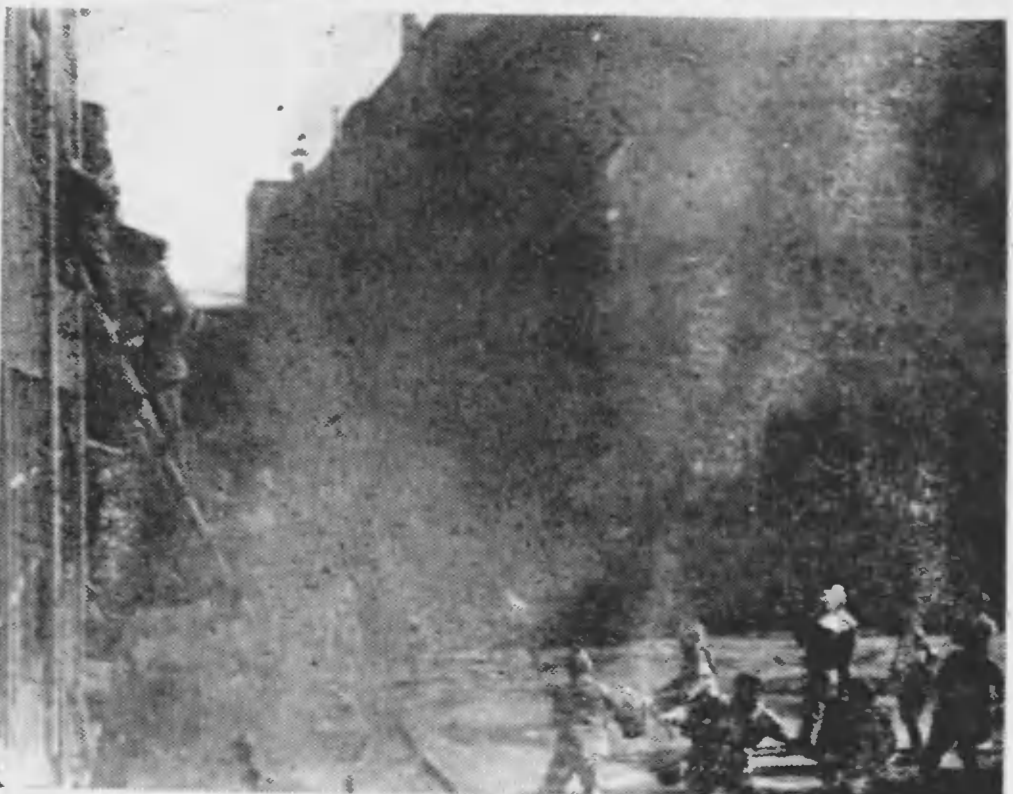
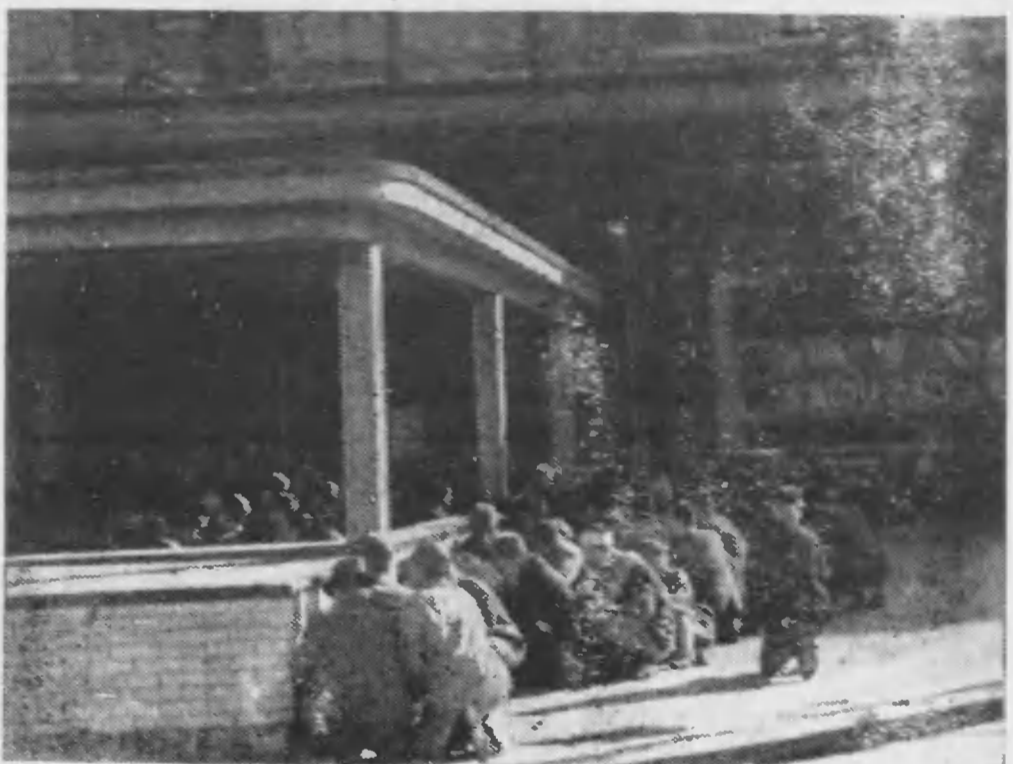
軍靴に履きかへて直ちに營門に出た。す。胸襟を
まく。これで名實ともが派兵隊になる。例に
まじりて、この日、全国にわたつて陸軍への
學徒入營がまづ一せいにいはれ、ついでに海軍への
入營は十二月十日に行はれた。

⇒ 班長に導かれて自分の内務班に入る。親切な指導
で、制服を軍服に替かへる。角箱も下着も靴下も
みな、かへた。大さきと軍人になつてゆく自分の
に、我ながら喜びがよる。

⇒ 營庭に整列。班長殿の角はつた。肩のたのもし。
もう、早稲田もない。腰間もない。この班長殿の下
にあの、中隊長殿の下に、班長の訓をきかへて
おへられるだけだ。

⇒ 班長も勇ましく、直ちに整列する。そこ、中隊長がやつてこられた。殿たる陸
軍大臣の訓示は、國に一番々々、進み入る。さうだ。終ると大臣は整列の激視を、はじめた。
ついで、班長も勇ましく、直ちに整列する。そこ、中隊長がやつてこられた。殿たる陸
軍大臣の訓示は、國に一番々々、進み入る。さうだ。終ると大臣は整列の激視を、はじめた。





「家々、コトコトイイ音も非
 常持出品を背負つて
 〇〇に「敵軍を撃つて
 降参は待たせたい
 〇火種につままれた工場も、特設防護手段の
 水は物も復舊し、操業の準備も進められる



大光玉籠に備へよう

東京都の防空訓練は、十一月二十三日から二十八日まで實戦さながらに行はれ、東部軍留留参謀から「みんなよくやつた。殊に隣組の導引の意気込みには全く感心した」といはれたほどで、八百万都民が心を一つに燃え上らせ、日頃の訓練の腕前を發揮し、防空十二分の備へありと総後戦場の頼もしさを示した
 これにこたへて二十日には、下谷區で空襲を備へて準備

待避にも、消火にも、食料確保にも用意はよいか

初の配給挺身隊現地演練が行はれた。敵襲に炎上する橋米所、米袋貯蔵所、配給所を、警防團、隣組防火群が必死に消しとどめる間にも、各物資の挺身隊は猛火をくぐつて、米、味噌、醤油、塩などを避難所へ運び出す。そこですぐ土を掘り、火をおこして移動炊事にかかり、四十分後には梅干入りのお握りがふつくとおいしそうに出来上り、またヨイコには煉粉乳も配給される。かくて、空襲にも盡所は大丈夫と心強い演練を終へ、防空要人は固められた



それつとげかちかけつける女子挺身隊の駐足も勇ましく、右真中
 「大事な米を袋に入れてるのか」米袋の搬出に敢闘する隊員を觀察する大連都長官、土肥原東部軍司令官、上
 器用な炊煙挺身隊の炊出しぶりに見入りながら女子隊員は待機だ
 〇ふつくと湯気をたて釜の中にももうご飯が炊き上つてゐる
 〇茶碗に飯を盛り梅干を入れて握る。目にもとまらぬその早さ、おもしろいお握りが忽ち出来る





泥んこの道も何のそのだ。水たまりにうつた姿も美しかった

都會から農村へ 移動演劇の贈物

東京

移動演劇隊員の日記より

東京都のうちとはいへ、南多摩郡稲城村といふ純農村だ。都内にもこんな農村があるのには驚いたが、それよりも驚いたのはけふの観客だ。何といふたくさんな観客だつたらう。聞けば今夜の入場者は三千人を超したといふことだつた。この村の人口は約七千人だといふから半分近い人が見に来てくれたわけだ。東京の大劇場でつてあんなたくさんな観客を前にして舞臺にたつことはできない。映畫の常設館も芝居小屋の一つもない農村、文化的な娯樂に恵まれない農村だからこそ、こんなに大勢の人達が十一月も末に近い寒さの、しかも夜の屋外で熱心に見てくれたのだ。そしてあんなにも喜んでくれたのだ。着飾つた東京の観客たちとは何といふちがひだらう。われを忘れて拍手したり、笑つたり、われ／＼の演技にほんとはびたりと溶けこんでくれているのだ。移動演劇隊員なればこそ感じることでできるこの感激、役者冥利につきるといふものだ。

この村へ小道具の荷物を背負つて歩いてきた時は『戦ふ演劇隊員』といふ自負に少ししい氣になつてゐたが、道々すつかり收穫を終つた田圃に立つて、早くも來年の増産を目ざしてまきまきと働いてゐる村の人々の姿をみたときには、使命に懸命なその態度に強い感謝の念が湧き上つてくるのをどうすることもできなかった。そして、よし、われ／＼も懸命な舞臺をつとめてこの人々の労苦を十分に慰めて上げなければと思つたことだつた。そして東京商工經濟會からわれ／＼をこゝへ派遣された使命もはつきりと掴むことができたのだつた。東京商工經濟會を代表して心からの感謝を農村の人々にうけて戴くのだ。都市と農村の人々の温い心の交流、それはたすのがこんどの移動演劇の使命だつたのだ。皆で組み上げた舞臺も、野天の樂屋風呂も、物めづらしさうに舞臺化粧のぞきこみにきた子供達も、みな忘れ難い印象だつた。さうだ、明日は出発前についで妻まきのお手傳ひをさせてもらはうわれ／＼のまいた一粒の麥だつてきつとお役に立つたらう

丸太で組んだ舞臺だつたが、三番役の華麗な舞臺に
は村の業一同がわれるやうな拍手をおくつてくれた

舞臺は村のおきだつた。やすむ間も
早く早速本家で舞臺積占を始めた

商工業者ヨリ贈ル 新穀感謝演劇大會



村の人がわかつてくれた樂屋風呂の
素材さも農村らしい楽しさだつた

未作の人達の労苦を思ひながら夜をそくまで隊員達がくりで舞臺も
作り大道具もならべた。舞臺壯年團の人達の手傳ひは嬉しかつた

昨夜見に来てくれた人達と妻まきをやつた。いさかでも農村の人達の助けにな
れば、われ／＼の感謝の氣持もとくだらうと思ふ。恰好は少し板につかないが



忘るな

戦費

緊めよ

生活!

大東亞戦争国債

昭和十八年八月二十七日

戦時貯蓄・報國債

國債の購入に代る

國債貯金

隣組の割當も、國債・債券を買ふに代りに
なれる國債貯金を利用せよ

大蔵省

寫眞週報
(禁斷轉載)

昭和十八年十二月十五日 印刷發行

情報局

東京郵政管理局

印刷局

東京郵政管理局

印刷局

東京郵政管理局

印刷局

東京郵政管理局

印刷局

東京郵政管理局

印刷局

東京郵政管理局

印刷局

東京郵政管理局

印刷局

東京郵政管理局

印刷局

東京郵政管理局

印刷局

東京郵政管理局

印刷局

東京郵政管理局

印刷局

東京郵政管理局

印刷局

東京郵政管理局

印刷局

東京郵政管理局

印刷局

東京郵政管理局

印刷局

東京郵政管理局

印刷局

東京郵政管理局

印刷局

東京郵政管理局

印刷局

東京郵政管理局

印刷局

東京郵政管理局

東京郵政管理局

印刷局印刷發行